



特集

# あさひかわの NEXT

～観光と広告の美味なる関係を探る～

# BIG MAGMA

## Vol.18

## どうする？ デザイン。

デザインはもともと理想主義的なものなので、経済という概念がそばにあると、とっても脆いものだと感じます。スグに負けてしまふし、ウまいこと使われてしまうという側面があって、本来のデザインの意味みたいなものはなかなか見えてこない。だけど、20世紀後半の非常に消費的な風潮の中で、企業の利益や個人の自由を追求しすぎると、どこかで立ち行かなくなるということを社会は経験しました。今そこから社会全体がひとつ賢くなろうとしている時に、デザインが本来もっていた価値観のようなものが、あらためてチカラを持ちつつあるように思います。それと同時に、生活者もさらに賢くなろうとしています。お金持ちになって何でも買いたいという消費の欲望はずっとあるだろうけど、一方で「理性的に暮らしたい」という欲望も最近では多く出てきていると思います。健康にいい野菜を食べたいとか、いい椅子に座りたいとか、ひとりひとりがこだわりを持って消費する。有名なブランドものだから欲しがるといふのと違って、もうひとつ賢い消費者でいたいとか、熱くならず客観的な視点を持った個人でありたいというような欲望が生まれ始めているのも事実です。そういったことも、奇抜なものを社会に投げかけていくような表現としてのデザインではなく、デザインが本来もっている価値観みたいなものがステキに見えてきている背景なのだと思います。これからこの旭川において私たちクリエイターは、そういうデザインを少しでも意識しながら、生活者のライフスタイルを通してものごとを考え、21世紀の課題である社会との共生や自然との調和といった、もっと大きな視点で前に進んで行かなければならないと思います。昔から、その土地の食はその土地で食すのが美味しくも正しいというように、デザインもその土地の気候や土壌が生み出す「生もの」です。その効果をさらに増幅し倍増し、常に旭川の広告は「旬」である。そんな新鮮で表情豊かな広告をつくっていきたいし、関わっていきたいと思っています。そういうものをクリエイターひとりひとりが常にどこかで意識しながらデザインしていければ、きっといろんな意味で旭川のデザインは、もっともっと底上げされてステキなものが増えてくると信じてならない今日この頃です。

旭川広告デザイン協議会  
快調(会長)  
やはずのよしゆき

aadc 展 2006

## 「もう一つの、旭川・観光ポスター展」

旭川の「新しい見せ方」を探る。

日時／2006年12月12日(火)～2007年1月7日(日)  
場所／デザインギャラリー（旭川市宮下通11丁目 上川倉庫「蔵囲夢」内）



2004年の「NEXT」から、2年余りを経てチーム制作バトルが復活!今回与えられたテーマは…「もう一つの旭川・観光ポスター展」。地域振興をライフワークとするaadcらしいお題目に三たび挑戦することになりました。既存の観光ポスターに新しい風を提案すべく、(…といっても既存の観光ポスターに当会会員が関わっていることは多々あるのですが…)旭川のイメージを180度変える斬新な切り口を求めて、これまでのポスターで使われたモチーフはおおむねNG。たとえば動物園、ラーメン、旭橋など、知名度の高いモノは使わずに、という過酷?な条件の下、チームバトルの火蓋は切られたのでした。旭川の新しい見せ方とは…。さて、どこに切り口を求めたらいいのだろうか…。今回も5つのチームに分かれ、各チームが広告クリエイターらしい発想とバイタリティでこの難問を解き明かしてみました。その作品と結果は次ページの通り。

今回は、展覧会の開催期間中に旭川市役所の観光に携わる方へ、特にデモンストレーション的なプレゼンテーションを行うことはしませんでした。その替わりとして、このマグマ紙面上において、市の観光課を交えた座談会を開催。私たちが制作したポスター作品をご覧いただきながら、旭川の観光とポスターについて興味深いご感想を伺うことができました。旭川市の観光は今後どうなっていくのか…そんなことを、この観光ポスター展とともに考えてみたいと思います。

旭川広告デザイン協議会 副会長 井上 隆也

A  B  C  D  E

- ★へそ、大好きだー!! (29歳・男性)
- ★新デザインだった (46歳・女性)
- ★癒しが好きだから。(34歳・男性)
- ★へそラブリー (30歳・女性)
- ★旭川の魅力を十分に表現できている。
- つぼ良かった。つぼハガキ欲しー!! (46歳・女性)
- ★デザインが好き (29歳・女性)
- ★ひと目見てもこのポスターかわらなかつたのですが、よく見ていくと旭川というのが分かり、「こんな所なんだ」「こんなものがあるんだ」と分かつたので。(24歳・男性)
- ★観光ポスターなの?と思ったけど、とてもおもしろいし、いいと思う。(21歳・女性)

一般来場者からのひとこと  
～投票、ありがとうございました～

A  B  C  D  E

- ★小路苑の引っ掛けが良いと思った。一杯飲んじゃえの感じがいい。(??)
- ★レトロなとこ。(21歳・男性)
- ★素直になれます。(52歳・女性)
- ★入って一番最初に本が目に入り、ひと目見たら忘れられない写真でした。(58歳・女性)
- ★落ち着きがあり、なごみますね。(37歳・女性)
- ★何となく行ってみたい気にさせる。(48歳・女性)
- ★旭川には「路」という魅力もあると思います。特にこのシーズン(冬)は少ない人数で小さな路で集まったりする事がとても好きだからです。(24歳・女性)

A  B  C  D  E

- ★あのまま首都圏で使えそう (女性)
- ★"100分"分かりやすいです (27歳・女性)
- ★インパクトがある (43歳・女性)
- ★旭川はいいなと思いました。(女性)
- ★ダイナミックに感じた。(69歳・男性)
- ★旭川って本当は近いんだよなと...のんびり来てほしいと地元として思います。(56歳・女性)
- ★北海道・旭川らしさが感じられたと思います。(女性)
- ★迫力があり、すくなくても飛んでゆくような感じでとても良かったです。(21歳・男性)

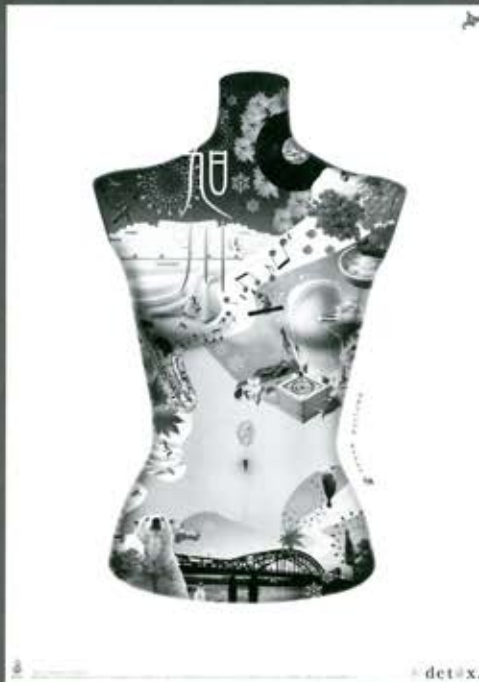
A  B  C  D  E

- ★「その秘密は水。」そうだったのか!と大いに納得です。白くまちゃん、べんぎんちゃん、あざらしちゃんもかわいい!! (54歳・女性)
- ★偏らずニュートラルな表現を担っている (39歳・男性)
- ★水にしぼったコピーとデザイン展開 (50歳・男性)
- ★ぬいぐるみと食べ物の違和感が良かった。(40歳・女性)
- ★一般的でありながら、肝心な事を伝えていると思う。(??)
- ★単純にかわいく見やすい。(54歳・女性)
- ★デザインがかわいかったから。(15歳・女性)

A  B  C  D  E

- ★独創的で楽しい (71歳・女性)
- ★ステキなユーモア! (42歳・男性)
- ★発想がおもしろい(??)
- ★動物との対比がおもしろい (71歳・男性)
- ★すじ子さんに聞き! (34歳・女性)
- ★なんとと言ってもユニークです。もう旭山動物園に目を向けるのは古いでしょう。なんと書いてもこの中途半端な夜の街で遊びあがす大人達の「LOVE」を感じます。(19歳・女性)
- ★お酒を飲んでいて、たまにこういう人がいるなって人にネーミングをつけておもしろいなあと思いました。(25歳・女性)
- ★映画ポスターみたいなワクワク感と想像力で楽しかった!! (40歳・女性)

A  
TEAM



■気持ちいいツボ あさひかわ / 久留嶋美子

久留嶋美子 池田栄子 今津秀邦 加藤祐子  
坂本美笑 竹田貴治 矢崎真弓

普段なかなか会う機会の少ない仲間と、チーム制作を通して一緒に作業をする良い機会でした。私共のチームは、メンバー各々が協力し合い、大変スムーズに作業を進行出来ていたと思います。チームポスターもチーム独自の「絶対に仕事じゃあり得ない」観光ポスターが出来たと感じます(笑)。反省点は色々ありますが、年末の超多忙な時期にも関わらず無事展覧会をチーム全員で乗り越えられたのが何よりかもしれません。皆様、お疲れさまでしたー。

B  
TEAM



■小路苑／大井琢磨

大井琢磨 植田 準 尾崎満範 小高 剛  
杉本啓維 土井 百 領家 匠

「もう一つのポスター展」で第2位に選ばれたことにチームの皆様大変感謝しています。雪の舞う中、モデルになっていただいた尾崎さん、小高さん、領家さん。急きよな作製にも仕上がりバッチリの植田さん、杉本さん、土井さん。とても楽しく参加させていただきました。次は1位をめざして(またやるのか!)さらに楽しめればとおもいます。みんなありがとうございます!

C  
TEAM



■旭川は「空」が売りです／山崎和美

山崎和美 井上隆也 下出敏男 新崎力也  
曾我部大輔 高橋雅之 山口なぎさ 吉田哲昭

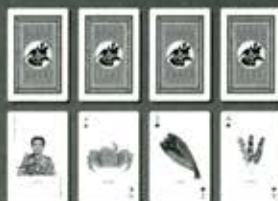
チームリーダーとして最初は戸惑いましたが、他の方々が積極的に意見を出し合い方向性が決まっていたので、年末で忙しい時期ではありましたが無事出展できほっとしました。普段関わることのないメンバーと物作りができて本当に貴重な体験ができました。順位こそ最下位でしたが、アンケート結果等見ても切り口としては良かったのではないかと思います。最後に制作に携わって頂いた皆様、ご苦労様でした。



■その秘密は、水。/土居 功

土居 功 勝浦恭子 得永泰弘 中濱亜喜良  
中村陽一 松田美環 矢三新子

私のチームでは「その秘密は、水。」をテーマにポスター3点とパンフレットを制作しました。aadcの初心者でありチーム制作初心者の私にはかなりのプレッシャーでしたが、皆様のご協力のおかげでスムーズな進行となりました。絵柄にしにくいと思われるテーマのビジュアル案、撮影立会いなど、ほとんどを経験者である皆様にお任せしてしまっただけだと思います。この場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



■さんろく de あそばナイト一夜の動物園/弦間 信

弦間 信 安久建一郎 荻野裕子 春日 充  
工藤勇魚 鈴木 歩 中村真人 林元利恵

普段はほぼひとりりで仕事をしているので、チーム制作は非常に新鮮でした。制作に関わったメンバーはそれぞれ非常に個性的で、それぞれの持ち味があってこそその作品だなあと、つくづく思います。自分はほとんど全てのデザインワークをやるハメになってしまったので、時期的にもちとキツかったです(結構手間かけちゃったし)ノリノリでした(笑)反省点としては、「ブラックすし子」を作れなかったことですかねえ(・\_・)

座談会

# あさひかわの NEXT

～観光と広告の美味なる関係を探る～



〈参加者〉



浅利 豪氏  
(旭川市商工観光部観光課主管)



西原 義弘氏  
(旭川ターミナルホテル支配人)



伊藤 友一氏  
(㈲デザインピース代表/aadc会員)



尾崎 満範氏  
(デザインスタジオ・オザキ代表/aadc会員)



# 1st stage

## 「もうひとつの旭川・観光ポスター展」から

——本題に入る前に、「もうひとつの旭川・観光ポスター展」で各チームが制作したポスターをご用意しましたので、皆さんには投票と寸評をお願いして導入としたいと思います。まずはAチームの作品から。

**尾崎** ビジュアル的には間違いなくパッと目が行くものなので、アレンジがもう少しなされたら道はある、という気はしますね。

**伊藤** 他のポスターと並べてみたときに、一番きれいなんだよね。いろんなものを入れつつも、最終的にワンビジュアルにまとめ上げている。こういうやり方は逆にすごいと思った。

**浅利** ソフトクリームをグレンデに例えたところは結構面白いですね。

——次は「小路」をテーマにした2連版です。

**西原** 「小路苑」の辞典の中がものすごく力作で、素晴らしいこと考えるね(笑)。これは地元の人に読ませるのであれば面白いと思う。でも、これが旭川かなあと。

**浅利** 僕は実際の展示会で、この題字を書いている方の他の作品も見させていたでいて、非常に好きな字なんですよね。

**伊藤** やっぱりカリグラフィが効いていますよ。ただ、旭川にはこんなに味のある通りもあるんだっていうのが伝わるような夕

イトルとか、「小路苑」を読ませる工夫が欲しかったですね。

——ではCチームの作品にいきます。

**西原** 観光ポスターとしてはこれしかないと思った。旭川は首都圏からわずか100分で来られるというのを一言で言ってくれたなということですね。

**浅利** 我々がクライアントになったとしたら、まずもってこの手が多いですね。単純にわかりやすいものだなという感じはしますが、遊びの部分が見られないっていう意味では、順位は下の方になってしまいました。

**伊藤** 本州の人とかは、嵐山からの景観に感動する人が多いんですよ。我々は見慣れすぎていて使いたくないんだけど、それを改めて使ったというのがエライ(笑)。

——次は「水」をテーマにした3連版です。

**浅利** 僕はやっぱり、旭川の売り物っていうのは食べ物、あるいは飲み物だと思うんですね。そういった意味では、これが一番強烈に僕の好きなものをうたっているイメージでした。3枚セットで考えるととても好きです。

**尾崎** 例えば、ぬいぐるみじゃなく、農家さんが出てきても良かったんじゃないですかね。それぞれに関わっている人が出てくるよう

なドキュメンタリーがあった方が、水の臨場感が出たかなっていう気はしました。

**西原** 写真に動きがない感じだよ。時間が止まったというような。

**尾崎** 確かに、ラーメンなんかでも湯気がプワッと出ているとか。

**伊藤** 酒だって、枧に注いでいるシーンでもいいよね。

**尾崎** 作り直しましょう(笑)!今の意見のとおり。

——それでは、最後の「さんろくdeあそばナイト」です。昨年的人气投票も、本日の皆さんの投票でも1位でした。

**西原** 「大人の童話」という感じで、遊びに徹している飲み屋街だよっていうのが出ていて面白かった。ただし、これが旭川の観光ポスターだっていうことになるといかがかな。

**尾崎** 制作者側から見ても、よくやったなと思うし、一般の消費者側の目で見ても楽しいっていうのは、やっぱり完成度が高い証拠なんだと思うんですよ。

**伊藤** これは、写真のパワーと色を強調させた画像処理のテクニックがきっちりしてる。それとユキヒョウガラの半端さはいいんだけど(笑)、できればこの写真だけでも、背



# 2nd stage

## 滞在型観光へのカギは「さんろく」にあり!?

景をもうちょっときれいなところにした方が良かったかな。

**浅利** 特に香港とか韓国あたりの人は、夜の楽しみを欲していますから、バアッとやれる雰囲気があれば、もっともっと旭川の魅力が増すんじゃないかなという気はしますよね。

**尾崎** 滞在型っていうのは、まさにこのへんですよね。

**西原** 浅利さん、これは市で採用してさ、台湾、韓国、中国に持って行きなさいよ(笑)。

——話も盛り上がってきたところで、旭川の観光の現状と今後の展望について、ご自身のお仕事とのからみを交えてお話しいただけますか。

**西原** 「旭川は通過型の観光」ってよく言われるんですけど、今、旭川のホテルは泊まれないんですよ、夏の間は特にね。すごい宿泊型の観光になったという意味では、ホテルとしては非常にありがたい。それで、さっき浅利さんもおっしゃっていたけれど、「さんろく」がもっともっと観光客に楽しまれるようになってほしいなあと思う。

**浅利** はっきり言って旅の魅力っていうのは、動物園みたいなものもいいんですけども、そこにプラスアルファで食べ物・飲み物が絶対に付き物なんです。旭川は晩飯が付いていない宿泊パターンがほとんどですから、「さんろく」が重要になってくるんですが、例えば、観光協会推奨のお店でありながら、旭川の地酒を置いていない店があるんですよ。やはりそれは良くない。あとは、旭川は海がないのに海のもの美味しいっていう夜の魅力をこれからどんどん売っていきたくて、売るためのポテンシャルをもっともっと「さんろく街」は持っていただきたいなと。

**尾崎** 動物園がブレイクする前は皆さん優良だ、ばんえい競馬だ、川だっていうのを挙げるんですけども、他市町村と競争力を持っていないんですよ。観光はそちらに任せて、夜は旭川に泊まって「さんろく」で地元の人がおすすめる店に行っ

てもらうのが、旭川のいちばんいい使い方なのではっていうのを、僕もずっと押ししてきたんですよ。ここにきて動物園がああなって、地元で昼も夜も完結するっていうのは、すごい観光地になったと思いますね。

**伊藤** おかげさまで「あさひかわラーメン村」もすごいんですよ(笑)。まさに動物園効果。この相乗効果なんてのは、いくつあってもいいものでね。ラーメンのときは、観光課とか観光協会がラーメンナイターを仕掛けたり、それと期を同じくしてラーメンバースが結成されてラーメン村が出来た。そういう中で動物園も仕掛けが当たっていったメジャーになった。仕掛けや企画、アイデアでこうやってメジャーになるものもあるから、あと一つでも二つでもそういうものを探し出していければ、もっともっとパワーはあがるんじゃないかなと感じますね。

**浅利** 昼にラーメンを食べて動物園を見て、その逆もあります。そうすると次に来る物が必要なのですよ。我々観光課としてはこの後何をしていくかとなると、この動物園のブレイクを末永く続けたいと。あるいはどこかでソフトランディングを図っていかなきゃならない。その間に、「次に続くもの」を何かしら作り上げないと、今後旭川は下火になってきちゃうんですよ。旭山に「食んぶに抱っこ」になっていると将来がないわけで、何かしらのアイテムなり売り方を、今調子のいいときにやっておくことが必要なんじゃないかと。そうすると、ひとつはやはり「さんろく」っていうところに落ち着いちゃうんですよ。

**西原** そういう夜の魅力があるってことを、さっきのポスターのようなものでガンガン売っていくという手は面白いと思うね。あとはそれを僕らがどう自慢して歩くかだね、ホテルの人も含めて。ぜひ「さんろく」で遊んでくださいって、どれだけ言いふらして歩くか。

**浅利** となると、旭川に行ったらこれを食べたい、ここに行きたいっていうものがやっぱり必要ですね。

旭川の売り物っていうのは食べ物、あるいは飲み物だと思う



地元で昼も夜も完結するっていうのは、すごい観光地になったと思う



# 3rd stage

## さあ、何がある？ 何をする？ 旭川。

おもてなしの心も  
市民の方にもっと  
広がっていくといいな



PRになるモノやコトを、  
我々が広告マンとして  
考えるべき



**尾崎** そういった中で考えていったときに、旭川の中でもこだわった特殊な食材っていうのがピンポイントであるんですよ。例えば、嵐山のハーブ豚や西神楽の方で養豚やっている杉本ファームさんの豚なんかは、舌の上に乗せたら脂身がふわっと溶ける。こういう食材を上手に広めていくと、何か道があるような気がするんですよ。知っていくと結構あるんですよ、面白い食材が。

**西原** さっき浅利さんが、飲み屋に行って旭川の地酒がないとダメって言ったのと同じように、豚もそうだし、斎藤牧場とかクリマリー農夢の牛乳もそうだし、旭川の自慢をみんなが共有財産にして、ことあるごとに口に出したり利用したりっていうやり方も方法かもしれないね。

**浅利** 動物園が売れたっていうのは、もともとそこなんですよ。久しぶりに市民が動物園を訪れたときに、あれ、前回と違うぞと。こんなのができたことを、市民が口コミで伝えていって、そのうちにマスコミも注目してきた、という。我々も、観光の素材となりうるものすべて盛り込んで、手作りで120ページくらいの観光ガイドブックを作ったんですね。それは、市民の皆さんにこんないいもの、いいところがあるんだっていうのをまず知っていただきたいかったです。

**尾崎** 僕が旭川に来た24年前は、旭川の方って本当に地元を悪く言いましたけど、最近の市民の方は旭川に誇りを持っていますよ。

**西原** 旭川に自信を持つことと同じように、おもてなしの心も市民の方にもっと広がっていくといいなと思うことがたくさんありますね。例えば、動物園に来るバスが帰るときに警備員さんが手を振ってお見送りするとか、落ちているごみを拾うとか。大勢の観光客が来るようなまちになったという意識を持って、自分たちでできることをやらないとだめだと。

**浅利** ごみの話で言うと、私も担当している冬まつりは、会場にごみひとつ落ちていないんです。これはボランティアの力なんですよ。でも、「さんろく」はごみだらけで、意識がやっぱり足りない。せっかく夜の観光として非常にいいものがあったとしても、こ

の辺の意識の向上を図っていかないとだめですよ。一市民であっても、そういったホスピタリティがあれば、どんな観光素材よりもいいものになるんじゃないかっていう気がしますけど。

**尾崎** そのためにも、そこに気づいた意識のある人から呼びかけを始める、動き始めるっていうことがすごく大事なのかなと思うんです。僕は東川に移ってから、せっかく土地が広いので除雪機で飛ばした雪で滑り台を作ったんですよ。それで、お願いされて広報誌に記事を書いたときに、全部の家に滑り台があって、滑り比べのできる冬の東川なんて面白いと思うのは自分だけでしょかって書いたら、電話が何軒あって、「面白いね、今度うちもやる」っていう人が出てきたんです。だから、気づいた人が、かたちが見える呼びかけ方をするっていうのがまちを変える方法なんだっていうのはすごく感じましたね。

**西原** どう市民に呼びかけていっていかっていう意味では、広告デザイン協議会のような人たちの考え方を市にぶつけて、行政が旗振りしたりしながらやっていくと面白いと思うね。今みたいなのをとどんやっほしーと思う。

**伊藤** 例えば、おらがまちの知識をある程度のレベルでテストするか何かして、認定証なんかを与えるみたいな、こんなことも進めていって市民レベルでPRをしていくと。みんながスポークスマンになっていくっていうのは、本当に今の時期を逃してはいけませんよね。それと、ごみを拾ったり観光バスに手を振ったりというホスピタリティ。これは観光課や観光協会とデザイン協議会が組んで、市民をそういう気持ちにさせる仕掛けができたならそれはすごいことだと思うけどね。

**浅利** 特に今観光で旭川が注目されている中で、個人にしても、組織にしても、それぞれどんなことができるんだろうっていう風に、考えてみる時期に来ているのかなと。たしかに動物園に200台も250台もバスが来ていて、1台1台に手を振れるかってい



# Last stage

## デザインが果たす役割って何だろう

う話もありますけど、どんなことでもできる範囲でやっていきたいと思いますという呼びかけは必要ですね。

**尾崎** その辺を具現化していくときに、僕らの業界でいくとコピーライティング力が必要になると思うんですね。単なる呼びかけって、なかなか賛同されないじゃないですか。そこに、その運動に対する意味がわかる、ちょっとユニークなネーミングがあると、なんかわくわくしてやれたりするんですね。観光バスに手を振るのは、例えば「ハンド&ハート運動」だとか、そういう名前を付けて。

**西原** 僕は、旭川には素晴らしいものがたくさんあると思うんだ。四季がはっきりしているし、イベントも素晴らしい。「さんろくまつり」のお神輿だって、あれだけ集まってわっさわっさやっているなんてね、あんまり知らないよ。パーサーロベットも、地域雪あかりとかイルミネーションっていうのも、僕は素晴らしいと思うのさ。だから、それを自覚して、それを上手に発信して、特にデザイン協議会の人たちに発信の方法を教わって、マスコミの力をいかに借りるかっていうのも大事だと思うよ。

**浅利** 北海道は「素材はいいけど、それを加工したり売ったりするのがへたくそだ」っ

てよく言われますよね。旭川も、もしかしたらそれが当てはまるかもしれない。ですから、こういった今のいい時期だからこそ、官民一体となった連携で、ある意味お知恵を借りつつ、まとまりをもって、いろんな発信をしていくべきなんですよ。そこには、現実的なデザインではなくて、まさに「創り上げる」という意味のデザインが本当に求められてくるのかなと。

**伊藤** 多分、動物園なんかはそれこそ広告には要らないんだよね。あそこまで力のあるものは、マスコミがPRしてくれるから。でも、広告がどこかに関わって、ちょっとでも後押ししたりお手伝いすることによって、さらに知名度が上がる、PRになるっていうモノやコトを、我々が広告マンとして考えなきゃな

らないよね。だから、今日の話からキーワードがいろいろ出てきた中で、どの部分にどうやって広告が関われるか。それは、どういうメディアを使うかということだけじゃなくて、広告業界としてどう関わっていったら「観光」と「広告」がどうリンクして、我々の力がどこで発揮できるのかというところなんだよ。せっかくなさくさん意見をいただいたんだから、会員の皆さんにはほとんど新しい発想を期待したいね。

——進行の必要もないほど皆さん熱のこもったお話で、10ページあっても誌面に収まりそうにありません(笑)。本日はどうもありがとうございました。



広報出版事業部

坂本笑美

Publication

出だしは好調だったかのように記憶しております「広報出版事業部」です。今年度は当初の予定を大幅に狂わせ、名簿発行・ミニマグマ一回発行、そしてビッグマグマの発行と大変反省点の残る活動になってしまいました。多忙な日々には会員の私生活を覗き見、「ふっ」と息抜きの出来る役割を果たしているだろうミニマグマ。楽しみにしてくださっている皆様、申し訳ありません。作り手と読み手の感覚を交えながらの手探りの作業はとても難しいことを知ることができました……。原稿作成等ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

交流懇親会事業部

領家 匠

Exchange

昨年に続き、7月23日にデザインギャラリー前特設会場にて「サマーパーティ」を開催しました。今年も一般参加者をあわせると50名以上の方々に参加していただきました。どうせ食べるなら美味しいものを食べようと、焼き鳥・ぶた丼・うな丼(当日は土用の丑の日でした)、それぞれ素材・産地にこだわったメニュー。そして、何と言ってもプロをお呼びしての本格デザート(矢野さん、ありがとうございました)。大勢の参加者によるこんで頂けたのではないかと思います。今回もお手伝いなど、協力していただいた皆さんにもこの場を借りてお礼を申し上げます。「ありがとうございました!」そして、2月17日、恒例の「ボウリング大会&新年会」を開催。結果は得永さんが見事優勝! iPod shuffle を獲得しました。おめでとうございます! 最後になりますが、1年間本当にありがとうございました。来年も皆さんの楽しんでいる笑顔を見せてください。

ホームページ事業部

土居 功

Homepage

数年保留状態が続いておりましたaadcホームページでしたが、7月末にようやくアップいたしました(悲願成就!)。保留の期間、Webをとりまく環境が大きく変わったこともあり、部会の中では、会員の情報網の中核を担う存在にしていきたいという理想に燃えて、熱い思いを語り合うこともありました。実際はそこまでの発展には至っていませんが、それでもコツコツと2006年のaadc活動状況、および会員の皆様から寄せられた情報をフォローできたと思います。今後の取り組みとして、広報出版事業部との取材分担作業によるWebミニマグマ発行や、会員作品紹介ページ、ビックリ動画配信等々、やりたいことがてんこ盛り! 2007年度・ホームページ事業部の活動を期待したいと思います。

平成18年度 幹事会報告

- 4月11日(火) ■16名出席 於:デザインたち  
・平成18年度幹事引き継ぎ  
・総会準備
- 5月15日(月) ■10名出席 於:デザインたち  
・道新広告賞
- 6月7日(水) ■11名出席 於:デザインたち  
・平成18年度 事業体制  
・デザインマンス「ポスターコンペ」プラン
- 7月5日(水) ■11名出席 於:デザインたち  
・各事業部事業報告  
・サイバルポスター展  
・道新広告賞  
・神々の庭音楽会の今年について

- 8月2日(水) ■10名出席 於:デザインたち  
・各事業部事業報告  
・名簿完了
- 9月6日(水) ■7名出席 於:デザインたち  
・aadc展2006実行プラン  
・各事業部事業報告
- 10月4日(水) ■10名出席 於:デザインたち  
・各事業部事業報告
- 11月1日(水) ■8名出席 於:デザインたち  
・各事業部事業報告  
・aadc展「もう一つの、色」観光ポスター展  
経過調整

- 12月8日(水) ■11名出席 於:デザインたち  
・各事業部事業報告  
・aadc展「もう一つの、色」観光ポスター展  
経過調整  
・デザインサロン講師「後藤氏・前田氏」に依頼
- 19/2月7日(水) ■7名出席 於:デザインたち  
・各事業部事業報告  
・懇親会「新年会・ボウリング」について
- 3月8日(木) ■9名出席 於:デザインたち  
・各事業部事業報告  
・「広報出版事業部ビッグマグマ」  
・次年度幹事候補
- 4月4日(水) ■16名出席 於:デザインたち  
・各事業部事業報告  
・次年度幹事会引き継ぎ・総会準備

マグマ発行

- 4月21日(金) ■aadc 会報「ビッグマグマvol.17」発行
- 19/3月28日(月) ■ミニマグマ 68号  
特集旭川市科学館「サイ/01」ポスター展

平成18年度の企画展事業部では「aadc展／もう一つの、旭川・観光ポスター展」と「道新広告デザイン賞」の2つの事業を行った。どちらも年末の忙しい時期に詰め作業が重なった上、制作物を担当するデザイナーが一人であったのは問題点として残った。事業部内にグラフィックデザイナーが少なかった事もあるが、担当幹事の作業の振分け方に問題があった部分もある。「めんどくさいから自分でやっちゃえー」的な発想が仇となったと言えよう。このような制作物が多く発生するような活動を行う事業部においては、バランスを考えた人事を行うべきはないか。頭数が揃っていれば議論は出来るが、制作段階では一部の人間だけが多くの作業を強いられる事になるからだ。「まっ、自分は楽しかったからイーんですけどね♪」というのが今年度の感想ではある。

1枚の、「科学への誘い」。もとむ!「探求心」を刺激するデザインの力。と題して始まったサイバルオリジナルポスターの公募は、プロ・アマ問わず小学生から大人まで、それぞれの視点で描いたユニークな作品が合計252点も寄せられました。7月8日には「サイバル」特別展示室にて公開審査、18日からは全応募作品を展示する「ポスター展」がデザインギャラリーにて開催という、実に【短期集中型攻撃スケジュール】。審査会や展示の準備をする私達も、短い時間の中あたふたと対応に追われる日々でした。しかし、審査会当日はaadcメンバーの協力も得てスムーズに審査が進み、ギャラリー展示には「新しい展示方法をやろう!」とアイデアが飛び出し、展示最終日には「aadc懇親交流会」も開催され、振り返ってみると、とても充実した事業活動となりました。あとは「旭川市長賞」に選ばれた作品が、公式ポスターとして全国に貼られ「サイバル」のPR効果につながれば幸いです。

弦間 信

企画展事業部

Exhibition

池田 栄子

デザインマンス

科学館ポスターコンペ事業部

Competition

平成18年度 各事業報告

- 4月21日(金) ■平成18年度 定期総会  
旭川グランドホテル 2階 19:00~
- 交流懇親会  
旭川グランドホテル 20:00~
- aadc 会報「ビッグマグマvol.17号」発行
- 7月8日(土) ■サイバルポスターコンペ審査会  
場所/旭川科学館サイバルにて  
・小中学生の部=93点  
・一般の部=149点
- 7月18日(火)~7月23日(日) ■サイバルポスター展(aadc展)  
場所/デザインギャラリー 来場者:370名
- 7月23日(日) ■aadc展(サイバルポスター展)サマーパーティー  
・ポスターコンペ表彰式・他
- 12月12日(火)~19年1月7日(日) ■aadc展「もう一つの、旭川・観光ポスター展」  
場所/デザインギャラリー 来場者:400名
- 12月18日(土) ■aadc展デザインサロン 18:00~  
後藤精二氏・前田弘志氏を迎えて
- 19年2月17日(土) ■交流懇親会 ボウリング大会&新年会  
場所/旭川コンパル 参加者16+4名

後援・共催・協力事業

- 7月18日(火)~7月23日(日)/7月8日(日) コンペ審査会  
■サイバルポスターコンペ運営実施  
主催/旭川デザインマンス実行委員会
- 19/3月3日(土) ■神々の遊ぶ庭の音楽会  
主催/「神々の遊ぶ庭の音楽会」実行委員会

ADA関連事業

- 6/14(水)~7/31(月) ■旭川デザインマンス
- 7/29(土)-30(日) ■三都市デザイン交流会議in函館
- 19年1月12日(金)~1月28日(日) ■第7回 旭川デザイン協議会展

# 協賛広告

# dentsu

株式会社 電通北海道 旭川支社

070-0032 旭川市2条通9丁目旭川道銀ビル6階  
Tel 0166-23-4771 Fax 0166-22-1036

ワンドリームピクチャーズ(有)

旭川市大町1条4丁目 tel.(0166)50-2556 fax.(0166)50-2566  
www.1dream.jp

# DO.

クリエイティブ集団  
Design office ONO

●主な仕事●

地域活性化計画、立案及び実施/イベントに関する企画、立案、及び実施  
広告に関する企画、立案及び実施/新商品に関する企画、立案制作販売  
マーケティングリサーチ/講演会企画・プロデュース

株式会社 デザインオフィス・オノ

〒078-8812 旭川市緑が丘南2条2丁目1-5  
FAX 0166-60-7222 FAX 0166-60-7223  
携帯/090-3776-8513  
E-mail:do\_ono@d1.dion.ne.jp

# sign design display



株式会社 藍工房

〒070-0821 旭川市近文町22丁目2746番地6  
T.0166-51-8666 F.0166-54-8668  
e-mail info@akoubou.com

学校法人 美術学園 **bisen** 北海道芸術デザイン専門学校

〒001-0027 札幌市北区北27条西3丁目 TEL 011-756-0773代 FAX 711-6943  
入学センター 〒001-0024 札幌市北区北24条西3丁目 TEL 011-756-5669代 FAX 756-7312

http://www.bisen-g.ac.jp ☎0120-5888-96

## 地域企業の創造的な活動を支援します

### 事業内容

#### 施設・設備賃貸事業

インキュベーションルームの貸室や交流サロン  
また設備機器等の賃貸

#### 相談・コーディネート事業

企業からの様々な相談に対し、情報提供、  
アドバイスや研究機関等と連携した支援  
活動を実施

#### 人材育成・交流促進事業

各種セミナーや異業種交流事業など、地域  
企業のニーズに即した事業の実施

#### 調査・研究開発支援事業

新製品・新技術の開発や新規事業化など  
を学術機関・試験研究機関等との連携に  
より支援



株式会社旭川産業高度化センター  
旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号  
☎0166-68-2820 FAX 0166-68-2828  
ホームページURL <http://www.arc-net.co.jp/>

<http://www.too.com/>



2007 Design Peaks Concept

## [?] 想像を超える創造へ。

本当にそのカタチでいいのか。思いつきに溺れてはいないか。  
伝える言葉はそれで十分か。時間に、甘えていないか。  
——「？」を超える。予備不可能集団、デザインピークス。

有限会社 デザインピークス [www.dpeaks.com](http://www.dpeaks.com)

旭川市3条通8丁目 緑橋ビル1号館 4階 TEL:0166-23-4771 FAX:0166-24-9644  
札幌通北海道旭川支社 Office / 旭川市2条通9丁目 旭川道銀ビル6階 TEL:0166-23-4776 FAX:0166-26-7378  
札幌 Office / 札幌市中央区北3条西2丁目110-5-17ビル5F TEL:011-200-4771 FAX:011-200-4772



北海道新聞社グループ  
KITANIHON ADVERTISING INC.  
株式会社北日本広告社 旭川支社

〒070-0010 旭川市大雪通1丁目978番地 TAKAOビル3F  
TEL 0166-20-0007・FAX 0166-20-0004 <http://www.ad-kitanihon.co.jp>  
札幌・網走・旭川・帯広・北見・苫小牧・小樽 ADK/セントナースネットワーク協議会員

キラめく...発想へ。

**novello**  
TOTAL COMMUNICATION  
旭川 / 札幌 / 函館 / 帯広 / 網走

〒070-0031 旭川市1条通11丁目左1号 TEL:0166-24-5285  
〒060-0062 札幌市中央区南2条東3丁目 TEL:011-281-6631  
〒040-0061 函館市海岸町12番13号ヴィア海岸町1F TEL:0138-40-1313  
〒060-0017 帯広市西7条南22丁目8番地とてつ通り TEL:0155-22-7606  
〒085-0018 釧路市南金町11丁目1番1号MFCビル4F TEL:0154-31-2141



## CHAIR? GALLERY

コレクション館  
チェアーズ・ギャラリー

家具の中でも特に椅子はデザイナーや建築家の創作意欲をかき立てる魅力的な対象物であり続けています。  
今期のチェアーズギャラリーは織田コレクション及び北海道東海大学所蔵の世界の名作椅子の中から、独創的なアイデア・遊び心の感じられる個性的な椅子たちを展示しています。(年に2回テーマに沿った椅子を展示) 只今、「遊び心を持った椅子たち」開催中(8/1まで)

〒070-0030 旭川市宮下通11丁目 上川倉庫「織田夢」内  
TEL 0166-23-3000・FAX 0166-23-3005

開館時間 / 5月~10月:10:00~18:00 11月~4月:11:00~17:00  
休館日 / 毎週月曜日 入場無料

<http://potato.hokkai.net/~ada/gallery/index.html>

## スタにだす。

オヤジギャグみたいだけど  
言われて表面にうれしい言葉。  
たかが印刷会社。  
しかし社員ひとりひとりの目指すものは  
印刷のことだけにとどまりません。  
もっとみんなの役に立つ事を提供したい。  
今日もあの「スタにだす。」という言葉が聞きたくて。  
私達は精進しております。



TOTAL PRINTING  
株式会社 須田裁版  
旭川支社 / 旭川市忠和5条8丁目3番1号  
tel:0166-62-2266  
<http://www.suda.co.jp>

●札幌本社 ●網走支店 ●苫小牧支店 ●旭川営業所  
●東京営業所 ●埼玉営業所 ●山形営業所

## とことん

お客様と一緒に効果の高い広告を、とことん創る会社です。

株式会社 みらいプリンティング  
MIRAI PRINTING Co., Ltd.

●本社・工場 / 〒071-1298 上川郡鷹栖町2962番361旭川鷹栖インター流通団地 TEL:0166-59-3333P0  
●札幌支店 / 〒060-0007 札幌市中央区北7条西13丁目9-1 塚本ビル7号館 2F TEL:011-281-6666  
●東京営業所 / 〒101-0061 東京都千代田区三越町2丁目9番7号いしづかビル 5F TEL:03-3556-8555

<http://www.mirai-prt.co.jp>



2007年北海道富士興業グループコンセプト

# 和気愛愛

新・マイホーム  
主義

## Sweet Home Sweet Town



北海道  
富士興業  
グループ

心ふれあう街づくり

北海道知事免許 上川(1)第31号

北海道富士興業(株)

□本社/旭川市3条通19丁目 電話31-6111 電話31-6164

□中央店/旭川市5条通8丁目 電話24-4040 電話25-0888

不動産のお世界屋

北海道知事免許 上川(1)第1026号

(株)リアルターアップル

□本部-2条店/旭川市2条通19丁目 電話37-4337 電話30-2111

□パワーエース/旭川市永山11条4丁目 電話48-4337 電話47-6667

□管理店/旭川市2条通19丁目 電話30-4990 電話38-4337

□高齢者人員相談部/

旭川市2条通19丁目 電話31-6199 電話30-2111

不動産活用ドック

北海道知事免許 上川(1)第525号 不動産投資顧問(国土交通大臣(一)第166号)

(株)富士管財

□本社/旭川市5条通9丁目 電話22-6080 電話25-0888

□総務部/旭川市3条通19丁目 電話31-6112 電話31-6164

□総計部/旭川市2条通19丁目 電話34-5955 電話38-4337

□V77-スG管理室/

旭川市永山11条4丁目 電話49-2333 電話49-2336

□あさひかわラベン村事務局/

旭川市永山11条4丁目 電話48-2153 電話49-2336

安心情報No.1

北海道知事免許 上川(1)第660号

(株)リアルター

□本社/旭川市4条西7丁目 電話25-4337 電話24-6266

**aadc**  
ASAHIKAWA  
ADVERTISEMENT  
DESIGN  
COUNCIL

# BIG MAGMA

## Vol.18

2007.4.21発行 旭川広告デザイン協議会会報

発行/旭川広告デザイン協議会

事務局/デザインたち

〒070-0026 旭川市東4条4丁目1-15 Tel.0166-26-6850 Fax.0166-26-6864

発行責任者/矢野野義之